

東濃牧場だより



令和4年9月21日

ピロプラズマ症対策を継続して行っています

東濃牧場では、牛舎の除糞時に牛を放牧地に出し運動させています。この際ダニに吸血されることで、貧血を引き起こすピロプラズマ症に感染することがあります。貧血が重症化した場合、増体の低下、流産してしまう場合があるため対策が必須です。

そこで牧場では、対策として以下のことを継続して行っております。



- ・バイチコール(ピレスロイド系外部寄生虫駆除剤)の2週間ごとの定期投与
 - ・放牧地内の藪の刈払い等による環境整備
 - ・家畜保健衛生所による衛生検査でのピロプラズマ症感染状況確認、ヘマトクリット値測定による貧血の確認
 - ・ピロプラズマ症陽性かつ貧血等の症状を示す牛への抗原虫薬投与による治療
- R4年4～8月のピロプラズマ寄生率は9.5%と前年と同程度であり、重度寄生や貧血を示す個体もみられないことからこうした対策でコントロールできていると考えております。今後も引き続き対策を行い発生予防に努めて参ります。

サシバエ対策も行っています

サシバエは吸血の際の痛みでストレスを与えるばかりでなく、牛伝染性リンパ腫などの感染症を媒介します。東濃牧場では水槽周辺や牛舎周囲のウジ発生源となりえる場所を中心に幼虫発育制御剤(IGR製剤)の定期散布を行っております。晩夏から秋が発生のピークといわれているため、冬に入るまで継続して定期散布を行ってまいります。

初妊牛譲渡の予定について

初妊牛の譲渡予定

譲渡月	R4年9月	R4年10月	R4年11月	R4年12月	R5年1月
譲渡予定頭数	35	55	34	21	25

引き取りの計画は、前の月の下旬に決定するため、上牧希望の牛がいる場合は、なるべく早くご連絡をお願いします。

(子牛の上牧については、牧場携帯電話 090-4166-2233 または 牧場電話 0573-56-2737 にご連絡下さい。)